

「答申（案）」 修正検討

資料確認いただき、事前に連絡を受けた修正検討箇所等

《委員1》

- ・ 語句について検討を
 - 2-① 市民の利用に資する
 - 7 市民誰もが自由に利用できる ⇒ 利活用できる にしてはどうか
- ・ あらゆる世代の市民、あらゆる世代 と出てくるが、それぞれもう少し特徴を表す言葉を添えた方がよりわかりやすくなるのでは
世代交流、世代間 など
- ・ 2-④ ～スペース、～スペース とスペースが繰り返しになるので
まとめた表現のほうがいいのでは

《委員2》

- 7 運営方法について
当該複合施設は、市民誰もが自由に利用できるまちづくりの拠点施設であるため、市立図書館としての公益性の維持とともに、新たな出会いや賑わいの創出により、多くの市民の居場所となるよう **いずれの要請についても最大化するため、効果的で効率的な**運営方法を多方面から総合的に検討し決定することが必要であると考えます。

《委員3》

- 2 目指す図書館の姿について
 - ・ ② この文面のままでは、図書館でなく公民館施設などにもそのままあてはまってくるのではないか。図書館の運営であることを示し表すため、図書館や図書という言葉を入れるべきでは
図書館の活動にボランティア団体等が積極的に関わり
図書を通し（図書により）地域の文化・芸術による… など
 - ・ ③ 様々な機能を有する施設である必要があります。
⇒ 様々な機能を有する施設**とする**必要があります。

- ④ 二つの文から成り立っている項ではあるが、意味が重複していないか
1文目で、読書スペースなど必要といい
2文目でも、イメージを脱却しつつも…また、読書スペースが必要とある

↓

また、「図書館は静かに」という従来のイメージにとらわれることなく、子どもたちがのびのびと本に親しみ、中高生も安心して利用できるようなゾーニングの工夫が求められます。

1文目で、読書や学習などのための場所の保障をする必要のあること、2文目で、子どもたちが多少声を出しても走っても許される場所、図書館から離れがちな年代を引き込み「安心していられる」場所であってほしいことを入れたいと思いました。

- 5 新たな施設として整備する必要性について
文章の成り立ちがこれでいいか
“立地条件や利便性、”がどこにかかってくるのかがわからない
- 全体として
“賑わいの創出”“賑わいが創出され”と同じ言葉が多すぎないか

《事務局から》

9 おわりに

図書館（複合施設）整備によるまちづくり⇒中央図書館整備によるまちづくり

図書館（複合施設）がまちづくりに ⇒中央図書館がまちづくりに